

きらり

おばま 人

まちづくり市民幹事会 体験部会長
しもじょう よしあき
下 由明 さん (阿納・33歳)



おばま観光局「まちづくり市民幹事会」のメンバーとして活躍する下由明さん。市民幹事会には、おばま観光局の運営や観光、まちづくりについて意見や提案を行い、みずからも事業に参加する役割があります。

「体験部会に集うメンバーは、農業者や漁業者、学校の先生や会社員などさまざまです。すごく頼もしいんですよ。毎月1〜2回会議を開いて、活動方針などを話し合っていますが、毎回さまざまな意見が飛び交い、まとめるのが大変なんです」と話します。

現在、体験部会の会長を務める下由明さん。10月22日に、小学生(4〜6年生)を対象に、上根来での原始体験を

体験型の観光を推進したい

企画しているそうです。

「原始体験は、廃校となった上根来小学校(山の家)を活用し、何かできないか話し合ったのがきっかけなんです。当日は、火起こしや、竹とんぼなどの竹工作体験を予定しています。上根来は、過疎化が急速に進んでいる集落なんです。観光資源としての素晴らしい自然がたくさん残っているんですよ。自然とのふれあいを通して、参加者に何か感じてもらえればうれしいですね」と笑顔で話します。

普段は、民宿と若狭フグの養殖を営む下由明さん。ブルーパーク阿納の運営にも携わっているそうです。

「部会のメンバーの中に、農業者と漁業者がいることを生かして、農業や漁業などを組み合わせた『体験型の観光プログラム』を考えているんですよ。農業体験で収穫した地元の野菜と漁業体験で捕った魚介類を持ち寄って、山の家などで原始体験ができたらいいですね。アブラギリという木の種子からろうそくを作る体験も考えているんですよ。みんなが飽きないような体験を、これからもどんどん発案していきたいですね。原始体験は、来年も実施する予定なので、興味がある人はぜひ参加してください」と、体験型観光の担い手として夢を膨らませます(下由明さんの挑戦は続きます。(10月13日取材))

●あなたの周りの「きらり輝いている人」「生き生きしている人(グループも歓迎)」を紹介してください。
市民協働課 広報・広聴グループ ☎53・1111 内線373

協働のまちづくり情報BOX (vol. 2)

今富小グラウンドに暗渠排水を整備!

■問い合わせ 市民協働課 ☎内線372

今回は、環境美化に取り組みボランティア団体「今富小学校エース会」が、平成22年8月7日、8日に行った暗渠配水管の整備について紹介します。

この取り組みは、学校という地域財産を「自分たちの手で」という強い思いの下、地域住民が一体となって取り組んだ協働の一つの事例です。

エース会には現在、20〜40代の18人が所属。「子どもたちの教育環境を良くしよう」をスローガンに、平成20年に発足しました。

今富小グラウンドは、今富ファイターズ(少年野球チーム)の練習のほか、地区民の運動会やスポーツ大会などで広く利用されていますが、水はけの悪さが課題となっていました。

昨年8月、市が暗渠パイ

プや真砂土、砂利などの材料を支給し、エース会やPTA、今富ファイターズのメンバーなど約40人が整備作業に取り組みました。中には、重機持ち込みで参加するメンバーもあり、約700平方メートルを整備しました。

水はけが改善されたことで、現在は快適なグラウンドに生まれ変わりました。

エース会の辻井裕二会長は、「子どもたちからは、『一輪車が走りやすくなった』と声が上がっています。現在、子どもたちの教材として、校内にモミジなどの木を3本植える計画を立てています。

今後、できる限り環境改善に努めたいです」と話します。



▶作業中の様子(重機を使って土を掘り、排水管を約240センチに掘削)

俳句

小浜市俳句作家協会

飛んで来し隣の家の落葉掃く 三分一 小畑 公
水澄みて何かあるらし泥動く 水取三丁目 津田 菊野
屋敷跡思ひ出いつも秋深む 松ヶ崎 百木 文子

山柳

川柳かもめ教室

誰も来ぬ木枯だけが戸を叩く 山王前 浜詰わか子
好物が出てきて中止ダイエット 四谷町 東野富士江
法話聞き今の幸せ手を合わす 青井 村松 欣二

短歌

いずみ短歌会

「歌会に出て頭のリハビリしましょう」と誘ひくれたる友のうれしき 上野 岡本 澄子
コスモスの咲きたる里の一处 ひとところ 山手一丁目 川端 宏子
後瀬山の麓に建ちし常高寺 駅前町 津田 條栄
お初の眠る奥つ城どころ

広告

広告

広告

広告

広告

広告